

令和6年8月23日

波佐見町議会
議長 百武 辰美 様

新庁舎建設等調査特別委員会
委員長 北村 清美

新庁舎建設等調査特別委員会所管事務調査中間報告書

新庁舎建設等調査特別委員会における調査事件について、会議規則第46条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 調査日時・項目

- | | |
|---------|---|
| (1) 日 時 | 令和4年8月26日(金) 午後1時30分開議 |
| 調査事項 | 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・備品購入計画について
・新館庁舎活用計画について |
| (2) 日 時 | 令和5年2月8日(水) 午前10時00分開議 |
| 調査事項 | 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・3階フロアの配置計画について
・什器発注の種別について
(正副議長室、議員控室、議員更衣室、委員会室) |
| (3) 日 時 | 令和5年3月14日(火) 午前10時00分開議 |
| 調査事項 | 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・議会事務局室等フロアの配置変更について
・委員会室及び議員控室の什器計画等について
・今後の工程について |
| (4) 日 時 | 令和5年4月10日(月) 午後3時00分開議 |
| 調査事項 | 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・進捗状況について
・議員控室等の配置変更について
・議場家具等の選定について
・今後の工程について |
| (5) 日 時 | 令和5年4月17日(月) 午前9時00分開議 |
| 調査事項 | 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・什器等の選定について
(議場、傍聴席の床絨毯説明)
・今後のスケジュールについて |

- (6) 日 時 令和5年4月25日(火) 午前10時00分開議
調査事項 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・ 什器等の選定について
 (議員控室の什器配置)
・ 今後のスケジュールについて
- (7) 日 時 令和5年6月20日(火) 午後1時30分開議
調査事項 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・ 進捗状況について
・ 議会関係床等仕様について
 (議員控室、正副議長室、傍聴ロビー、議場前廊下)
- (8) 日 時 令和5年7月5日(水) 午前10時00分開議
調査事項 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・ 進捗状況について
・ 議会関係壁等仕様について
 (議員控室、正副議長室、傍聴ロビー、議場)
- (9) 日 時 令和5年7月27日(火) 午前10時00分開議
調査事項 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・ 進捗状況について
・ 議会関係等仕様について
・ 今後の工程について
- (10) 日 時 令和6年5月31日(金) 午後3時00分開議
調査事項 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・ 進捗状況について
 (本館等解体工事)
・ 改修計画について
 (新館等改修工事)
・ 外構計画について
・ 町道計画について
 (町道鹿山飛瀬線道路改良工事)
- (11) 日 時 令和6年8月9日(金) 午後1時30分開議
調査事項 所管事務の調査(庁舎建設推進室所管)
・ 進捗状況について
 (外構工事、周辺整備工事)
・ 新館改修工事の変更について
 (こども家庭センター、子育て支援センター等)

2. 出席者・説明員

(1) 出席者

委員長 北村 清美 副委員長 澤田 昭則

委員 尾上 和孝 脇坂 正孝 岡村 達馬 岡村 真由美 濱本 秋人
議長 百武 辰美

(2) 説明員

大橋 秀一庁舎建設推進室長、中村 謙一庁舎建設班係長 平尾 真一主査
設計監理 (株)建友社設計
施工業者 池田工業・田崎工務店特定建設工事共同企業体 (株)池田工業
議場家具納入業者 Q-b i cソリューションズ株式会社
議場家具製造業者 コトブキシーティング株式会社 九州支店

3. 調査概要

◎備品購入について

備品購入計画について掛かる総費用は、カタログ価格を参考にして、おおむね約1億3000万円を概算で見積り、入札を経て、総費用が6割～7割程度に割安となる想定。
ただし、物価高騰が続いており、備品価格が高騰することも想定された。

◎新館庁舎活用計画について

庁内会議が重ねられ、最終的に1階にこども家庭センター、子育て支援センター、多目的ホール等、また2階に職員の厚生施設等が整備される。

◎外構工事について

(モニュメントサイン、園路工、トンバイ堀、新館園庭等)

◎新庁舎改修工事について

開庁して8か月が経過したが16項目の改修施工箇所が要望されている。

◎新館改修工事の変更について

(こども家庭センター、子育て支援センター)

4. 調査の所見

新庁舎は令和6年1月4日に開庁し、新しい環境での業務が開始された。

基本計画に基づいて建設され、町産木材・リサイクル石膏・陶板等を使用するなど「町民に優しい庁舎」「波佐見らしい庁舎」を表現されている。

今後は本町の発展と時代の変遷とともに業務の効率化、行政のデジタル化並びに防災の観点からでも十分な整備がなされているので行政需要を見据え機能的な充実が図られる。

なお、教育委員会事務局の移転については、新庁舎の開庁後も町民から多くの意見がある。

町民の利便性を第一と考えながら併せて職員の働き方改革等も踏まえて、将来の職場として働きやすい環境も整える必要がある。

本委員会は、令和7年3月末をもって調査を終了する予定である。